

新製品

2010年9月 発売開始

大容量ファイルのセキュア配送システム

デジ急便® アプライアンスサーバ

10MB～の添付ファイルは、どうやって送ってますか？

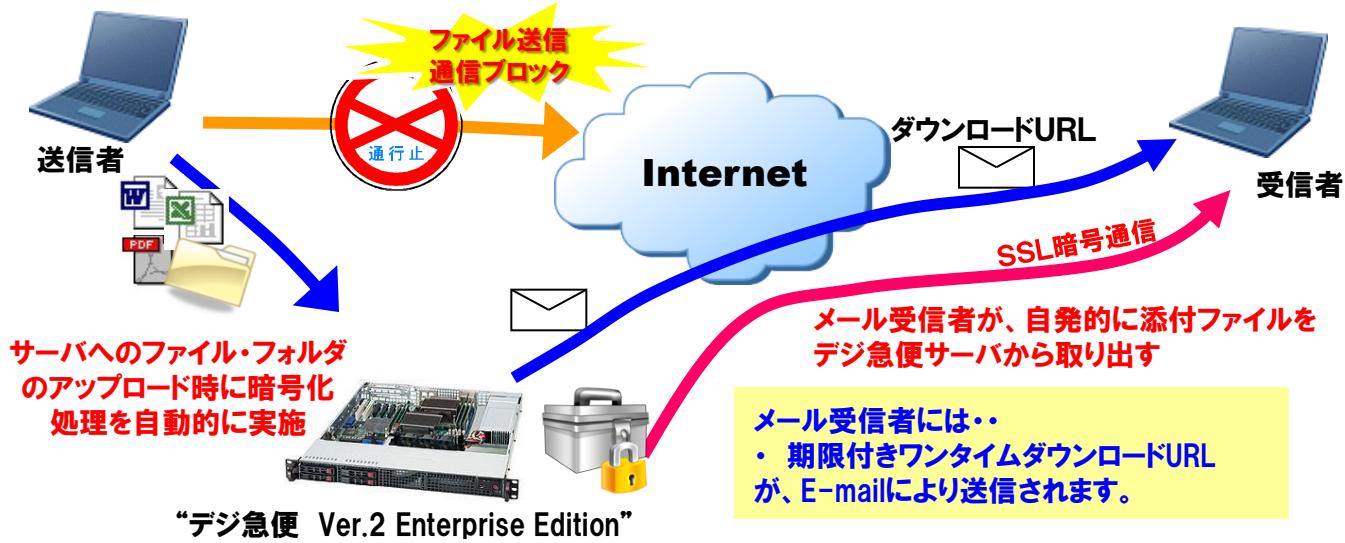
E-mailでの大容量ファイルの添付に関する 問題点

- ・ 添付ファイルの送受信では、数MB程度の制限があり実際には使えていない。
- ・ インターネット上の無料ストレージサービスなどを容認しており、監査・検閲は実質出来ていない。
- ・ ISMS/Pマーク等の指導で暗号化(パスワードZIP)があっても運用しきれていない
- ・ 内部ネットワークから外部への情報漏えいルートとして制限したい希望がある

大容量ファイルの、安全な送受信運用を可能にする “デジ急便 Ver.2 Enterprise Edition”

【システム導入ポイント】

- ✓ システム導入時に、利用者端末へのソフト導入は不要。従来通りの環境で利用できます。
- ✓ 暗号化E-mail (PGP/MIMEやS/MIME) の環境を運用中なため、E-mail系ソリューションが導入出来ない環境でも導入できます。
- ✓ インターネット上の第三者による不安定なサービスを利用しない事で、送信先への安心で高速なファイル送信環境を構築できます。
- ✓ システムが自動的にファイルの暗号化を行うため、利用者は平文送信で対応する事ができます。業務効率の改善も同時に可能です。
- ✓ 内部のファイルサーバに保存・バックアップする暗号化済みファイルが不要になりファイルサーバの容量増加が抑制され“コスト削減”が可能になります。
- ✓ E-mailの“誤送信対策”を実現。万が一の場合でも、ファイルの提供を阻止できます。
- ✓ 既存のOnePointWallシステムの“ファイルアップロード”系ポリシーの運用を補完します。



製品のキーワード

- ✓ ISMS、プライバシーマークなどセキュリティ認証要件にある、外部向けのファイル送信に関する“暗号化運用”に対応。クライアントの負担と不安定さを解消。
- ✓ 野放し同然のE-mail添付ファイルと、インターネット上の無料ストレージサービスの利用実態を改善。外部向けの情報統制と証跡(ログ)管理が可能。
- ✓ システム管理者として、全クライアントに負担無く導入ができ、既存運用の利用範囲を拡大させられる。実務業務効率の改善と内部サーバシステムのコストダウンを同時に実現。

専用サーバの特徴

- ✓ 最新データセンタ仕様にも適合した、グリーンIT対応の省電力サーバ(ノートPC並みの待機電力を実現)で実装
- ✓ IPMIインターフェースを標準で搭載。遠隔地からのリモート管理や制御を実現
- ✓ 標準でRaid構成のディスクを搭載し、システムと保存するデータの安定性と信頼性を確保
- ✓ 万が一のハードディスク障害時も、システムを止めずに部品交換が可能

専用サーバ仕様

本体寸法 (mm)	幅×高さ×奥行き	426mm x 43mm x 558mm
質量		約13.2kg (最小構成)
プロセッサー		インテル XEON L3426 TDP 45W (1.86 - 3.2GHz)
主記憶 (RAM) 容量	標準容量	6GB (2GB x 3)
	最大容量	32GB DDR3 ECC Registered memory (RDIMM) in 6 DIMM sockets
HDD		500GB S-ATA II 2.5インチ Server専用HDD (MTBF 120万時間) × 4
イーサネット		2x Intel® 82574L Gigabit Ethernet Controllers 1x Realtek RTL8201N PHY (dedicated IPMI)
IPMI		IPMI 2.0 with virtual media over LAN & optional KVM-over-LAN support
電源		AC 100V (50/60Hz) 360W (待機時 消費電力 70W)
保証期間		1年

参考価格

- ✓ デジ急便 Ver.2 Enterprise Editionアプライアンス 定価:3,200,000円

※上記は、1000名迄の利用環境を前提にしています。1000名を超えるようなお客様には、別途ご提案するプランがありますのでご相談ください。